

第67回

そろばん優秀生徒表彰式典

令和4年3月6日(日) 大阪市中央公会堂



No. 350

発行所 公益 全国珠算教育連盟
社団法人 大阪府支部
http://www.web-g.jp/osaka88/
E-mail osaka88@web-g.jp
〒552-0001
大阪市港区波除2-8-14
TEL 06-6583-6222
発行者 櫻井行雄
編集者 久手堅大成
印刷 広報部

令和4年3月6日(日)水都大阪の象徴でもある、国指定重要文化財「大阪市中央公会堂」において、第67回そろばん優秀生徒表彰式典が挙行された。新型コロナウイルス感染症対策として、式典の時間短縮を図り、来館者数を、半数に制限し表彰生および保護者にマスク着用・検温・手指のアルコール消毒健康観察表の提出など、徹底した感染症対策のもと、3年ぶりの会場での開催となった。

表彰に先立ち、櫻井行雄支部長から表彰生に「はじめてそろばんに触れた慣れない指使いから、今日という日に至るまで、続けていくことで栄光を手にする事ができる『継続は力なり』を君たちが身をもって証明してこられた。日本の文化・教育・伝統である『そろばん』を、次の世代に引き継ぎができるには、本日表彰された君たちの力が必要であり、

個々の目標を一つ上げ努力することを期待し、こどもたちの育成に思いやりの協力をさせていただきたい。」と挨拶をされた。

澤田悦子本部理事より、3年ぶりとなる会場開催の英断をされた大阪府支部に感謝の意を表され、「コロナ禍の厳しい制限の中、素晴らしい中央公会堂において表彰されることを誇りに思っていたことを称えられ「人間はひとりでは生きてはいけない。多くの人に支えられていく。夢に向かって努力すること、願いは叶えられる。」と祝辞を述べられた。



第67回そろばん優秀生徒表彰式典は、感動に包まれながら、無事に終了となった。(広報部)

目元がとても印象的であった。その後、表彰生全員が後方に向かい姿勢を正すと、保護者から大きな拍手が贈られ喜びを分かち合った。アトラクションにおいて、そろばんの歴史や、全国珠算教育連盟の活動内容などがスクリーンに上映されると、館内は静寂を取り戻したが、フラッシュ暗算抽選会が行われると、会場の空気は一転してこどもたちの歓声に包まれた。

第67回そろばん優秀生徒表彰式典
表彰生の皆さま、おめでとうございます！



【各部門代表選手】
 小学生の部 行広龍飛 1 165点
 中学生の部 江口尊琉 1 410点
 高校・一般の部 植西亮太 1 370点

令和4年4月3日(日)午前10時より、大阪府支部2階において、令和4年度全日本珠算選手権大会の代表選考会が実施された。
 23名(小学生の部8名・中学生の部10名・高校一般の部5名)の選手の参加で行われ、日頃の練習の成果を互いに競い合った。

全日本珠算選手権大会
 代表選考会

令和4年度
 全日本通信珠算競技大会 大阪府大会
 日時 令和4年10月10日(月) 祝日
 会場 「エル大阪」
 (詳細は競技部より、連絡があります。)

令和4年度全日本珠算選手権大会
 日時 令和4年8月8日(月)
 午前12時開会 午後5時閉会
 会場 「国立京都国際会館」



令和3年度 臨時総会
 アートホテル大阪ベイタワー
 令和4年4月17日

令和4年4月17日(日)午前10時から、アートホテル大阪ベイタワー3Fコンファレンスルームにおいて、令和3年度臨時総会が開催された。開会の前に、本年度に、ご逝去された会員の御親族に哀悼の意を表し、黙祷を捧げた。

櫻井行雄支部長が挨拶の中で、厳しいコロナ禍の状況において新入生獲得の為に、日々努力されている会員の労をねぎらわれた。

顧問代表挨拶では山口勝義氏が、昨今の世界情勢を交えながら、「新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、大変な状況ではあるが、会員の先生方の日々の努力で仕事を充実させることが、組織の充実に繋がっていくのではないか。」と挨拶された。

本部・支部・近畿ブロック・大阪連合・近畿連合の状況報告において、櫻井行雄支部長が次のように語った。

◎3月26・27日に第

68回全国珠算研究会がオンラインで開催され、540名の先生方が参加された。

◎令和4年1月3日に大阪天満宮において約400名の参加者のもと、新春はじき初め大会が開催された。

◎令和4年2月6日に大阪商業大学において第65回全大阪学別珠算競技大会が開催された。

◎令和4年3月6日に大阪市中央公会堂において第67回そろばん優秀生徒表彰式典が3年ぶりに会場開催された。

◎近畿連合は、そろばんのPR(CM・HP等)を主体として活動。新入生増加対策の一環として、教室運営の一助を担うように、オリジナルQ.U.Oカードの作成・販売。

◎令和4年5月15日近畿連合総会をアートホテル大阪ベイタワーにおいて開催。大阪府支部状況報告の

中で、谷元明光氏の監査就任の了承が得られた。

総会成立宣言は現在会員数93名、出席者数35名・委任状数45名で成立宣言が行われた。湊隆之副支部長を議長として、議長団(副議長・森川智笑子氏・櫻井裕士氏、書記・今福知子氏、議事録署名人井村里絵子氏・山地良子氏)が選出され議題審議に入った。



定部から、4月検定時点で、受験者数が昨年比85.2%で減少傾向にあり受験者数の増加に協力を求められた。

競技部から、4月3日に大阪府支部2階にて23名の参加のもと、令和4年度全日本珠算選手権大会の代表選考会が実施された。厚生部から3月6日のそろばん優秀生徒表彰式典がコロナ禍による厳しい制限の中ではあったが会員の協力のもと無事に成功に終わったと話された。最後にホームページ委員長の大島なを子氏より会員専用ページに関するお知らせがあり、支部HPの充実を図るとともに、会員の先生方が有効活用していただければと話された。(広報部)



令和3年度 本部指導者講習会

検定試験委員委嘱講習会
講師 櫻井 行雄
大阪府支部長



検定試験委員委嘱講習会に参加して参りました。講師を務められた櫻井行雄支部長からは、まず、改めて、検定試験に際しての基本的な徹底事項として、試験委員としての身だしなみやモラル・名札着用の必須等のご説明がございました。続け

て、検定試験施行にあたっての注意事項では、コロナ禍で対応の増えた欠席者の取り扱いや地震等の災害時の対応についても丁寧にお話していただきました。最後に採点の件に関しては、数字の書き方を始め、コンマと小数点の区別、応用計算における単位の記入の仕方、解答訂正時の記入方法等をたくさんの方の具体例をご提示の上、詳しく解説していただき、大変参考になりました。年次的に初めての検定試験委員委嘱講習会でしたので、各内容の再確認、整理ができました。特に数字や解答の記入方法については、日頃から教室にて生徒の皆さんに繰り返し指導しているも、なかなか改善されない場合が多いのが現状ですが、記入による点数の取り

こぼしのないように改めてしっかりと指導していきたいと思いましたが、「櫻井支部長、ありがとうございました。」

(二地区 小上馬彩)



「応用計算解説」
講師 山口 大仁
検定部長



令和4年4月17日(日)山口大仁検定部長による、令和3年度本部珠算指導者講習会演題「応用計算解説」の講習会が開催された。第410回検定試験より応用計算問題が一部改定され、指導しやすい問題になったこともあり、今よりさらに応用計算問題に取り組もうと、熱意をもった71名の会員が参加された。先生自ら、作成された段位応用計算模擬問題を資料に、ホワイトボードを使用し詳しく解説をしていただきました。講習会が始まってすぐ、段位応用計算模擬問題を、支部長はじめ各執行部長、各地区長の先生方にも解いていただき、各自、解答を発表。山口大仁氏から「ごめい！」の声を度る度に、会場は笑顔と笑い声で溢れていた。今回から削除される問題(株式の利回りの問題・グロスの問題)追加された問題(比・

速さの問題)(最小公倍数・最大公約数の問題)(原価を求める問題)にも触れられ、参加された先生方は熱心に耳を傾けられていました。また、文章題で出題されている複利計算の問題では、応用計算付表が廃止され、各問題に配置されているとのことでした。応用計算問題の複利終価率・複利原価率・複利年金終価率・複利年金原価率の公式も丁寧に説明をなされた。



すと、算法に長けておられる先輩先生方は軽やかにそろばんを弾かされて、どこか懐かしさを感じさせる笑顔が、とても印象的でした。フラッシュ暗算がパソコンの普及とともに社会に広く浸透していることもあり、珠算式暗算が脚光を浴びている。暗算能力の向上がこどもたちの将来に大きく役立つことは、紛れもない事実である。が、しかし加乗法・減乗法など色々な算法を使用すると、「そろばん」が計算器具として、優れていることも、また忘れてはならない大きな価値のように考えさせられました。(広報部)



第68回 全国珠算研究集会

オンライン開催

令和4年3月26日・27日

会場 大阪府支部2階

令和4年3月26日・27日の2日間にわたり、第68回全国珠算研究集会が開催された。兵庫姫路市で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンラインでの実施となり、全国から540名の先生方が参加された。

大阪府支部では、インターネット通信環境や、ZOOMの取り扱いなど、の問題点を考慮して、大阪府支部2階で、プロジェクトを使用することで、多数の先生方が一堂に会せるように会場が設営された。

大阪府支部では、30名の参加者の内、16名の会員の先生方が会場での参加となった。

初日の定刻13時45分になると、工藤壽和理事長の挨拶に続き、開催担当支部の奥野宜孝兵庫支部長が挨拶をされた。コロナ禍であつても、全珠連会員に学ぶ機会を絶やさないうという強い思いが感じられました。

第1講座「新応用計算について」では、検定競技委員長であられる山戸克弘氏により講義があつた。消費税率・面積・文章題をより適切な文言に修正・変更などがあり、段位の問題の変更については、追加・削除される問題等があると話されました。

「応用計算問題をより学校の算数教育に寄せることで、保護者や社会に全珠連検定の魅力をもってもらおうと感ぜられました。」

第2講座「教具としてのそろばんの魅力とイギリスでの活動について」では、イギリス在住のHome+知子氏よりイギリスとの生中継

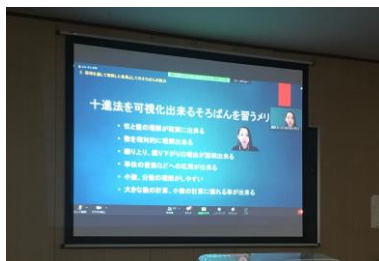


で講演がなされた。文化の違う国でそろばん指導をする難しさや、その中であるからこそ発見できた教具としてのそろばんの魅力。『そろばんは世界で唯一、十進法を可視化するこゝとができる教具である。』そして、この魅力を日本だけでなく世界にも発信し、現代にそろばんの必要性を伝えていくことの大切さを話された。

「珠算人はいつでも二刀流」では、沖縄県の上江洲由樹氏より講演がなされた。『特技『そろばん』の指導『趣味』として、生徒たちに

安心感を与えるために、常に前向きな言葉をかけ続ける。入塾した頃の気持ちをもち続けさせるように、お互いに慣れないよう言葉遣いや接し方に気を遣つていると話されました。

そろばん指導を通して、こどもたちの自主性を引き出し、その結果に達成感を与えてあげることで、こどもたちは、自ら努力を継続していくことの喜びを感じられると思ひました。



2日目の第4講座「珠算研究集会に参加して、素晴らしい3名の講師陣より、とても貴重なお話を頂戴しました。コロナ禍が続き、対面で先生方とお話しする機会も少なくなりどこか閉塞感に覆われた日々を過ごし、自問自答を繰り返しながら

上江洲先生のキャラクターと親しみやすさ、こどもたちに寄り添う熱意が素晴らしい教室を作り上げていると感じました。

2日間にあたり全国珠算研究集会に参加して、素晴らしい3名の講師の先生方、会員に学ぶ機会を絶やさない熱意と信念を感じさせていただいた全国珠算教育連盟に感謝を申し上げます。(広報部)

最後にコロナ禍において、このような素晴らしい研究集会を準備していただきました研修学教委の先生方、素晴らしい講演をしてくださいました3名の講師の先生方、会員に学ぶ機会を絶やさない熱意と信念を感じさせてくださった全国珠算教育連盟に感謝を申し上げます。(広報部)



最後にコロナ禍において、このような素晴らしい研究集会を準備していただきました研修学教委の先生方、素晴らしい講演をしてくださいました3名の講師の先生方、会員に学ぶ機会を絶やさない熱意と信念を感じさせてくださった全国珠算教育連盟に感謝を申し上げます。(広報部)

諸会議行事報告

〈常任委員会〉

日程

令和4年2月20日

場所 大阪府支部2階

出席者数 17名

1. 本部・支部・近畿

ブロック・大阪連

合会・近畿連合会

状況報告

2. 令和4年度事業計

画案・予算案審議

について

3. 第67回そろばん優

秀生徒表彰式典に

ついて

4. 各執行部報告

その他

行事予定

6月19日

偶数月検定試験

6月17日

監査会

7月24日

第410回検定試験

7月31日

常任委員会

全日本珠算選手権大会練習会

8月8日

全日本珠算選手権大会

8月9日

理事会

8月21日

通常総会・本部講

8月28日

習会・会員親睦会

偶数月検定試験

近畿ブロック総会(兵庫県)

9月3日

本支部連絡協議会

9月4日

分科部会

顧問連絡会・役員

9月18日

研修会

9月24日

近畿ブロック親睦会(兵庫県)

9月25日

全珠連創立記念日

第411回検定試験

令和4年度通常総会

日時 令和4年8月21日(日)午前10時
会場 アートホテル大阪ベイタワー

本部指導者講習会

日時 令和4年8月21日(日)午後1時
講師 澤田悦子氏

★詳細は、後日支部より連絡があります。

令和4年5月15日(日)アートホテル大阪ベイタ
ワーにて開催された、近畿連合総会・懇親会の様子。



次回、広報誌351号にて記事・詳細を掲載します。

6・8月検定試験のお知らせ

- 珠算4級～15級
- 暗算1級～10級

★申込期日締切日

6月1日(水) 午前10時
8月3日(水) 午前10時

★検定結果報告締切日

6月20日(月) 午前10時
8月29日(月) 午前10時

★申込期日・検定結果報告は支部への
提出日です。期日は厳守して下さい。

★受験者数増加をおねがいたします。

大阪府支部 事務局 夏季休暇

令和4年8月12日(金)～15日(月)
業務開始は、令和4年8月16日(火)
午前9時30分から。

編集後記

「おおさか」350号の発行にあたり、ご協力・ご助言を下さった諸先輩先生方に深く感謝申し上げます。

コロナ禍が続く社会において、珠算教育の現場でも大きな打撃を受けています。こともたちの習い事の多様化・低年齢からの学習塾・少子化などに、新型コロナウイルスが拍車をかけている。自塾において、試行錯誤して、打開策や良案をと考えている。

試行錯誤は、トライ&エラーと同意義で使用されています。(正確にはトライアル&エラー)トライ&エラーは、IT業界のシステム開発でよく使われる言葉です。思いついた方法を何度も試し、失敗を重ねることで問題点を解決しシステムを構築していく行動様式になります。

失敗を恐れず何度も挑戦するところが、試行錯誤の一番大切な部分になります。

大阪府支部の会員の知恵を出し合って、たくさんのトライ&エラーを繰り返すことでこれから明るい珠算の未来になることを期待しています。

(広報部)